
BLEACH **海賊貴族の日常**

kurosu

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

BLEACH 海賊貴族の日常

【Nコード】

N0426Y

【作者名】

k u r o s u

【あらすじ】

神に愛された男の称号を欲しいがままにする男の人生で初めての不幸は事故による死だった。だけでもそれすら神のミスで転生する男の物語

プロローグ

目を開くと辺り一面真っ白な空間にいた。さっきまでは確かにコンビニで雑誌を開いてたはず……

『よく来てくれたね。哀れな魂番号1083937843689番。』

「だれ?!?!???」

何も無いはずの空間に声が鳴り響く。その声はとても遠くにいるようで、それでいてすぐ目の前にいるようで、魂に響いてくるような不思議な感覚。男のようで女のようで年老いた爺さんのようで老婆さんのようでもないかといって人間ではないと否定できない不思議な声。

『君から見たら私の事はなんと表現すればいいかな?神とでも名乗っておこう。』

「……間違つて殺しちゃった　パターンですか?俺二次創作とか良く読むから何となくこの後の展開が読めるな」

『答えはYESだよ。君には転生してもらおう事になる。こちらの勝手で悪いけどこれはもう決定事項だから諦めてね。何か転生の事以外で質問はあるかな?』

「えっと、じゃあとりあえずなんで死んだかと自分でも驚くくらい冷静でいられるのはなんでか教えて？」

『死んだ理由は、君がいたコンビニに酔っぱらい運転の車が突っ込んだからで君以外に死者は無し。本当は運転手のみ死ぬ予定だったんだけどね。冷静でいられるのは君が異常なだけ……』

「異常って……否定できない自分がいるから仕方ないか」

彼は苦笑しながら自分の生前を思い出す。道を歩けば宝くじを拾って1等など出るのはあたり前になっていた程の『激運』

少し走れば陸上世界記録保持者の記録を軽く越し、フルマラソンを1000m感覚で爆走できる『運動神経』

忘れようとしなければ決して忘れない完璧な記憶能力を持ち独学で人造人間を作れる『頭脳』

映画ファンで「パイレーツ〇〇カリビアン」が大好きになった。新作の発表では興奮し過ぎて泳いで大陸を渡り海の男になった気分を味わったのはいい思い出……あの時の自分は一体なにがしたかったのだろう。

『それじゃあ、早速君が行く世界を決めよう。少なくとも君の知っているアニメを基準にランダムに選ばれるからね。拳を握って片腕を前に上げてご覧、君の転生する世界の名前と転生ボーナスとも言える能力を持てる数が出るから』

彼は自分の心臓の音が確実に早まるのを感じながら、それに反してゆっくりと片腕に拳を握り前に掲げた。

「……ここが俺がこれから生きていかなきゃならない世界。」

握った拳を開いて、自分の慣れ親しんだ手の平の上に浮かび上がった文字は『BLEACH』^{ブリーチ}
その文字が消えた後に浮かび上がってきた数字の数は「3」

「初めて自分の運の無さに絶望した！なんでよりによってBLEACH！？ゼロ魔とかネギまとかじゃないんだ！！！」

「転生先はあれな感じだけど能力の数が3個はかなり多いよ。少なくとも今まで私が見てきた中で一番多い。じゃあ今度は反対の腕を同じように上げてみて。」

彼は言われた通り腕に拳を上げたが先ほどまでの胸の高鳴りなど無く、あるのは原作のキャラに切り捨てられる光景が浮かぶ走馬灯のようなネガティブな想像だった。

そうして上げた腕の拳を開いていくと真っ赤な字が浮かび上がった。一つ目は『才能昇華A』その後には現れたのは『戦闘の才能A』そして最後に『霊圧操作EX』

「よっしやーーーーー！！！」

彼が喜んだのは間違いなく『戦闘の才能A』がたったからだろう。そこに神が説明を加えていく。

『「才能昇華A」はその名の通り自分の才能を強制的に更に引き上げる能力でついでに生前の才能の引継ぎを意味する。君の場合は生前の才能の「運」と「運動神経」と「頭脳」だね。「戦闘の才能A」もその名の通り戦うのに必要となる事においては天才の中の天才になる能力だ・・・ああそうか。君は「才能昇華A」があるから「戦闘の才能EX」にランクアップするね。ここまで来ると初めて触った武器でその道一筋に人生をかけた人をいきなりあしらえる次元

だね。「霊圧操作EX」は「霊圧操作EX+」になるからどんな霊
圧操作でもお手の物になる才能なんだけど昇華して自分の周りにあ
る霊圧の動きをかなり細かく知ること出来るようになるし一時的に
霊圧を変えられるね。・・・目をつぶっても千本桜景敵の中を走り
回れるステータスか。うん。チートだ」

神の説明を聞いて彼は思った。負ける要素が見当たらない・・・と。

こうして、哀れに死んだ幸運な彼の新たな人生の始まりを待ちなが
ら彼の視界はブラックアウトした。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0426y/>

BLEACH 海賊貴族の日常

2011年10月30日03時19分発行